

ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会

かみかわくんひがしかわちょう

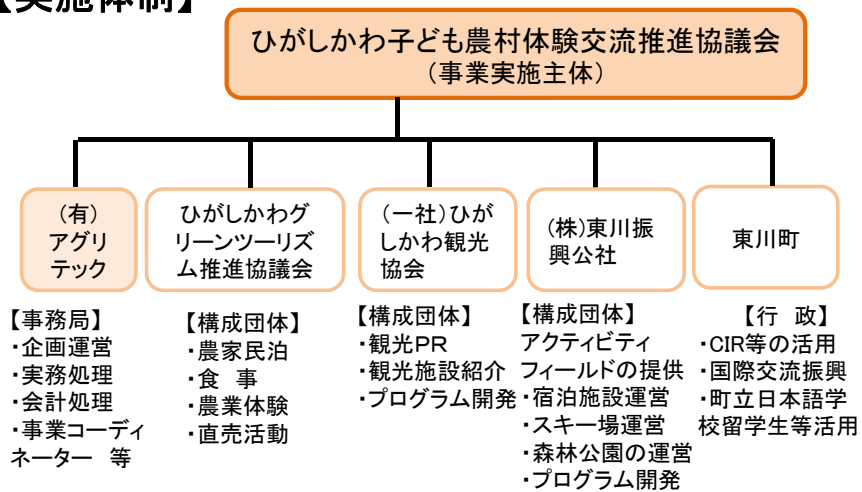
〔北海道上川郡東川町〕

- 平成26年に協議会を設立。主な取り組みとして「子ども農村体験交流プロジェクト」を中心に都市部の子どもたちや修学旅行等、農家民泊や地域の観光アクティビティの提供のできる受け入れ体制の整備をおこなう。
- 協議会で開発してきた観光コンテンツを教育旅行等だけではなく、個人旅行やインバウンド等多様なニーズに対応できるようブラッシュアップし、より多くの交流人口増加に向けた体制構築を図っている。

北海道東川町



【実施体制】



【特徴的な取組】

- 東川の基盤産業である農業を中心にグリーンツーリズムにおける農業体験や食体験プログラムの提供
- 北海道最高峰旭岳をはじめとする大雪山国立公園の豊かな自然や冬のパウダースノーなどを活用した体験プログラムの開発
- 町立日本語学校に通う留学生や町に在籍しているCIR交流員を通訳や体験交流アシスタント等として活用したインバウンド向けの観光コンテンツの開発



都市部の高校生等の農家民泊体験の受け入れ



パウダースノーを活用したスノーシュー体験



インバウンド向けプログラムの開発

【取組内容】

○協議会で受け入れた交流人口の推移

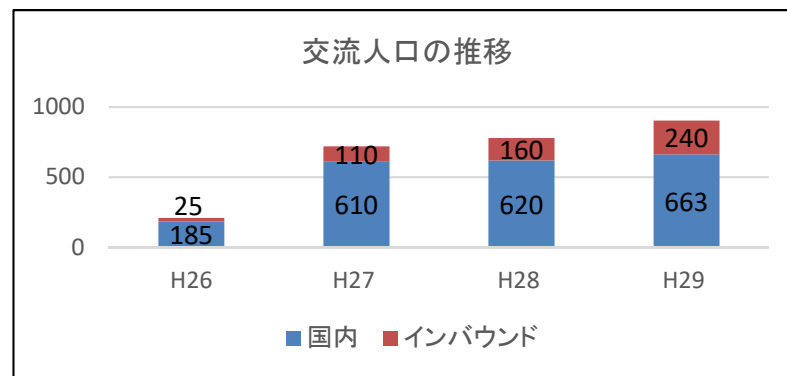
<H29年度実績>

交流人口数 903人(うちインバウンド240人)

・延べ宿泊数 674人・泊

・日帰り 約600人

※宿泊は修学旅行等での農家民泊体験を中心とした実績



○体験プログラム数

もともと農業体験など含め8つの既存プログラムだったが、インバウンド向けのプログラムにブラッシュアップしたものや、乗馬やカヌー体験など開発中のものも一部含め、20ほどのプログラムを提供。

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約

【採択年度】
平成29年度
【事業実施期間】
平成29～30年度



北海道最高峰旭岳の玄圃の町



「写真の町」としてまちおこし



東川町立東川日本語学校 開校式
廃校跡を活用した町立の日本語学校で多くの留学生が学ぶ